

●AICSの結果に影響を与える可能性がある病気について

現在下記の病気にかかっている方は、AICS値に影響を与える可能性があります。検査の対象外とするものではありません。

AICSを受診することによって、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんではないのにAICS値が高くなりうることをご理解いただいた上で、ご受診ください。

現在までに各種AICSの結果に影響を与える可能性がある病気

- AICS(肺):慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺炎腫、無気肺
- AICS(前立腺):前立腺肥大、糖尿病
- AICS(子宮・卵巣):子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- 複数のAICS:脳梗塞

●検査前に症状があった場合は、どうすればよいでしょうか?

AICSは、症状のない方を対象とした検査です。あきらかな症状がある場合は、医療機関を受診することをお勧めいたします。

●検査はどのように行われるのでしょうか?

血液を5mL程度採血して検査を行います。1回の採血で、男性AICSは5種類、女性AICSは6種類のがんに対するリスクについて検査を行います。

●検査の結果はどのくらいで報告されるのでしょうか?

検査結果が報告される日数については、受診する医療機関におたずねください。

●検査の費用について

この検査には健康保険は適用されません。検査の費用については受診される医療機関におたずねください。

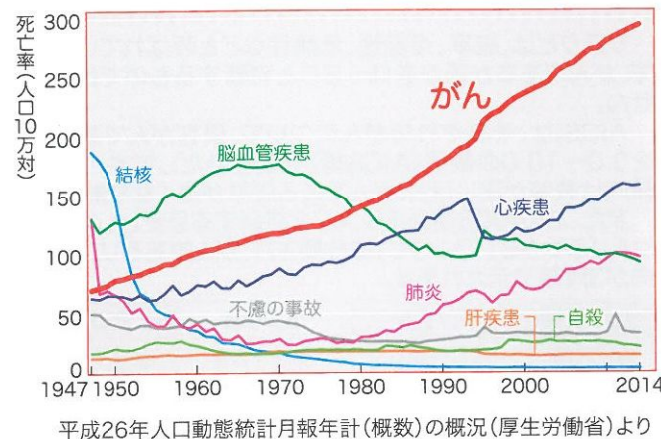
●受診前の注意点

- 検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないで、午前中に採血してください。
- 検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、AICS値に影響がありますので検査は受けられません。

●日本における死因別死亡率の推移

日本における、がんによる死亡者数は年々増加傾向にあり、1981年以降死因の第1位となりました。

また、2014年には、全死亡者数127万3千人中、がんによる死亡者数は36万8千人となり、死亡者の約1/3ががんにより死亡しています。



●がん検診のすすめ

近年、がんの診断技術や治療法は急速に進歩しています。早期にがんを見つけ、早期に適切な治療を行うことにより、がんによる死亡のリスクを減らすことができることから、定期的ながん検診による早期発見が重要です。

技術開発:味の素株式会社

医療機関名

aminoindex、AICSは、味の素株式会社の登録商標です



4709 SP・30T-AV(5)



1回の採血で、
複数のがんのリスクを評価!

アミノインデックス®
がんリスクスクリーニング

監修:三井記念病院 総合健診センター 特任顧問
足利工業大学 看護学部 学部長
山門 實

